

【第1号議案】

平成23年度事業報告

1 協議会の開催

時期	事業	内容
平成23年 5月27日	第1回協議会	(1)規約の改正について (2)平成22年度事業報告及び決算報告について 会計監査報告 (3)平成23年度事業計画案及び予算案について (4)新発田市地域内フィーダー系統確保維持計画案について (5)新発田市コミュニティバスの更新登録について（地域公共交通会議案件）
平成23年 10月25日	第2回協議会 （書面協議）	「市街地循環バス」愛称名の市民公募実施案について
平成24年 2月14日	第3回協議会	(1)事務処理及び文書取扱規程案について (2)平成23年度事業の進捗状況について (3)平成24年度事業の予定内容について ・市街地循環バス本格運行案について

2 公共交通活性化事業

事業	内容
学校統合基本方針説明会等への参加	地域への学校統合方針説明において、公共交通見直しの考え方を説明 ≪紫雲寺地区≫ 平成23年11月20日 藤塚小学校区 出席人数 22人 平成23年11月27日 米子小学校区 // 32人 // 紫雲寺小学校区 // 16人 ≪東中学校区≫ 平成24年1月25日 米倉地区 出席人数 38人 平成24年1月31日 赤谷地区 // 8人 平成24年2月26日 松浦地区 // 25人 平成24年3月7日 五十公野地区 // 42人
川東地区の路線見直し	平成26年4月の統合小学校開校に合わせ、地域と共に検討中 ○平成23年度の検討経過 ・公共交通検討部会・・・4回開催 ・川東地域課題検討委員会（公共交通検討と統合小学校検討部会の前全体会議）・・・2回開催 ☞部会、委員会にて、「統合小学校」を、基幹路線と支線の乗り換えポイントとした

<p>市街地循環バスの運行ルート等の見直し (社会実証実験)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 23 年 4 月 1 日改定内容 <ul style="list-style-type: none"> ①高校の始業時間に合わせたダイヤの微調整 ②市道新発田下新町線（通称：まち裏バイパス）への路線追加 ・運行期間：平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日 ・利用者数：<u>100,692 人（8,391 人/月）</u> 目標 5,000 人/月 ※昨年度 98,041 人（8,170 人/月）
<p>市街地循環バス運行状況システムの導入</p>	<p>新潟県 IT&ITS 推進協議会から平成 23 年 4 月 1 日付で、システム一式を受領。平成 23 年 4 月から路線を一部変更したことから、変更後においてもシステムが適切に稼働するか検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞<u>路線変更部分も含め、稼働を確認済み</u> ・実験期間：平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日 ・<u>アクセスユーザー数（平成 23 年 8 月～平成 24 年 3 月）</u> <u>パソコンから 3,486 件、携帯電話から 7,276 件</u> ※昨年度（平成 22 年 9 月～平成 23 年 2 月） パソコン 2,485 件、携帯電話 4,073 件 ・システムを活用し、インターネット上で市街地循環バスの愛称募集を実施☞<u>60 件の応募（応募総数の約 1 割）</u>
<p>市街地循環バス愛称名募集（追加事業）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実施期間：平成 23 年 11 月 16 日～平成 23 年 11 月 30 日 ・愛称の応募状況 <ul style="list-style-type: none"> 応募人数 ：579 人（述べ） 応募作品総数：377 作品 ・愛称の検討 <ul style="list-style-type: none"> 平成 24 年 1 月 24 日 市街地循環バス検討会議 平成 24 年 2 月 14 日 第 3 回協議会 ・愛称の決定 <ul style="list-style-type: none"> これまでの「市街地循環バス」から「<u>あやめバス</u>」となる。